



# 広田山公園

## ～生物多様性に配慮した公園づくり～

広田山公園は、廣田神社の敷地をご厚意により無償でお貸しいただき、まち中の自然豊かな公園として西宮市が管理し、市民の皆様へ開放しています。同公園には、昭和44年に兵庫県天然記念物に指定された「コバノミツバツツジ群落」があります。

園内では、アカマツ林が照葉樹林化することで、林内照度が低下し、同群落の衰退が見られます。そこで、同群落の保全・再生に向け、周辺環境を調査しながら保全すべきゾーンを設定し、地域の皆様との参画・協働による保全活動を進めています。

広田山公園は、生物多様性に配慮し、訪れる人が四季折々の豊かな自然とふれあえる公園づくりを目指しています。

| ゾーン名                  | おもな樹種   |                   | 管理目標   | 目標林                   |
|-----------------------|---|-------------------|--|-----------------------|
| 1 コバノミツバツツジゾーン        | アカマツ・コナラ<br>コバノミツバツツジ<br>モチツツジ<br>サカキ<br>カナメモチ        | コバノミツバツツジ保全・再生優先型 | 広田山の魅力であるコバノミツバツツジを楽しめるように、林内の光環境改善を目的として、中高木を伐倒し、コバノミツバツツジの低木林を目指します。         | コバノミツバツツジ低木林          |
| 2 コバノミツバツツジアカマツゾーン    | アカマツ<br>コバノミツバツツジ<br>アラカシ                             |                   | コバノミツバツツジの本来の生育環境であるアカマツ林の景観を維持します。  | コバノミツバツツジ低木林 + アカマツ疎林 |
| 3 コバノミツバツツジと四季を感じるゾーン | コナラ・アラカシ<br>コバノミツバツツジ<br>モチツツジ<br>ネジキ<br>カナメモチ・シャシャンボ |                   | 林内の光環境を改善するため、アラカシなどの照葉樹を伐倒します。一方、四季の変化を楽しめ、ドングリを実らせるコナラ、アベマキなどの夏緑樹はできる限り残します。 | コバノミツバツツジ低木林 + 夏緑疎林   |
| 4 里山ゾーン               | コナラ・アベマキ<br>コバノミツバツツジ<br>ネジキ<br>アラカシ<br>カナメモチ         | 夏緑林・照葉樹林保全型       | 四季の変化を楽しめ、ドングリ拾いもできる夏緑林の景観を維持しつつ、コバノミツバツツジをはじめとする多様な里山の植物との共存を図ります。            | 夏緑高林(コナラ、アベマキ林)       |
| 5 鎮守の森ゾーン             | アラカシ・ヒノキ<br>カナメモチ<br>ネズミモチ<br>カクレミノ<br>ヒメユズリハ         |                   | 神社の森としての景観を維持するために、現状の樹林を保全し、遷移の進行に任せて照葉樹林を目指します。                              | 種多様性の高い照葉樹林           |
| 6 現状維持ゾーン             | コナラ<br>アラカシ<br>カナメモチ<br>モッコク                          |                   | 現状維持とし、ゾーンの位置づけについては、今後の検討課題とします。  | 現状維持(要検討)             |

## 広田山公園 目標植生のゾーニング図

